

平成27年度の目玉事業を紹介

広報あつぎ

広報

特別号

厚木市2015

事業と予算のあらまし

みんなでつくろう
元気なあつぎ



ウェブでも最新情報を配信中

厚木市

検索



新市立病院のICU（集中治療室）で医療スタッフと撮影

■ 平成27年度 施政方針要約 ■

市民一人一人が光り輝くまちに

厚木市長 小林 常良

市議会2月定例会議の初日、小林市長は施政方針演説で27年度の市政運営の考えや重点的に取り組む施策を表明しました。議会では過去最大規模となる総額1406億円の「あつぎの元気きらめき予算」が成立。市民一人一人が光り輝ける社会の実現に向け取り組んでいきます。

2月15日、市民の皆さまから3期目となる厚木市長の重責を託されました。これまでも「みんなでつくろう元気なあつぎ」をスローガンに、市民の皆さまと気持ちを一つにして、全力でまちづくりに

取り組んできましたが、あらためて、皆さまから頂いた期待と信頼に身が引き締まる思いです。

新たなマニフェストに掲げた「“いのち”を守り抜く！世界に誇れる安心・安全なまち」「子育て・教育環境日本一！子どもたちの未来が光り輝くまち」をはじめとする六つのビジョンと136の政策、そして「待機児童ゼロ」「いじめゼロ」「振り込め詐欺被害ゼロ」など、市民の皆さまの安心・安全を守り抜く11項目の「ゼロ」への挑戦に全力で取り組んでいきます。

全国的な少子高齢化や人口減少社会の到来などの困難を乗り越え、厚木市が将来にわたり発展を続けるためには、どのような社会情勢の変化にも即座に対応できる仕組みづくりと、戦略的な施策の展開、そして、何より市民の皆さまの力が必要です。

3期目となる次の4年間も、市長就任以来一貫して進めてきた「現地対話主義」「市民協働」によるまちづくりをさらに推進し、厚木市が魅力と活気にあふれ、誰からも愛され、全国、そして世界に誇



市議会2月定例会の様子

れる「雄都」となるよう、全力で取り組んでいきます。

「あつぎの元気きらめき予算」を編成

平成27年度は、市のまちづくりの方向性を定めた総合計画「あつぎ元気プラン」の第2期基本計画と第3期実施計画がスタートする年です。第2期基本計画は、基本構想の集大成としてこれまで進めてきた各施策をさらに充実させました。そして、地域ごとに抱える課題に的確に対応するとともに、地域の個性や特性を生かしたきめ細かいまちづくりを推進するため、新たに地域別の計画を策定しました(詳しくは18ページ参照)。

平成27年度当初予算は、市民の皆さまの命や暮らしを第一に考え、「あつぎの元気きらめき予算」として編成しました。全ての事業をゼロベースで見直すとともに、既存事業の整理・統合・廃止などを検討し、削るところは削り、加えるべきところはしっかりと加えていく「徹底した選択と集中」を実践しました。社会情勢の変化に的確に対応し、引き続き、市民協働によるまちづくりを進めるとともに、第9次厚木市総合計画「あつぎ元気プラン」を着実に進めていきます。



子育て支援センター「もみじの手」で遊ぶ親子と交流

「あつぎの市民力」でさらなる発展を

私は、ことしの市政運営のテーマに「光輝」の2文字を掲げました。市民の皆さま一人一人が光り輝く素晴らしい社会を実現し、子どもや孫など次の世代にしっかりと受け継いでいくことが、今を生きる私たちの使命です。

さらなる少子高齢化や人口減少社会の到来、経済・産業構造の変化、地方分権の進展など、厚木市を取り巻く環境は誰もが経験したことのない局面を迎えようとしています。

しかし、経営革新度日本一の原動力となった「あつぎの市民力」をもってすれば、どんなに困難な課題であっても、必ず乗り越えられると私は確信しています。

市民の皆さまの熱い思いを結集し、これまで築いてきた「元気なあつぎ」が、将来にわたってさらに発展できるよう全身全霊を懸けて取り組む覚悟です。

総合計画に掲げる将来都市像「元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市 あつぎ」の実現のため、市民の皆さまのより一層のお力添えを、心からお願い申し上げます。



市内15地区で、まちづくりをテーマに意見交換



2月に実施した予算会見で、記者団を前に予算編成を説明

CONTENTS

あつぎの 元気きらめき予算 2015

平成27年度予算のあらまし	5
一般会計の中身をチェック	6

七つの重点項目

1 長寿・医療・福祉	8
2 安心安全・防災減災	9
3 子育て・教育	10
《目玉事業》子ども・子育て支援新制度関連事業	
4 中心市街地・交通対策	12
《目玉事業》本厚木駅南口地区市街地再開発事業	
5 企業誘致・雇用創出	14
《目玉事業》森の里東土地区画整理推進事業	
6 自然共生・再生可能エネルギー	16
7 スポーツ環境・文化振興	17

総合計画「あつぎ元気プラン」

第2期基本計画	18
---------------	----

City Atsugi



平成27年度予算 のあらまし

平成27年度の予算は、市民の皆さんの命や暮らしを第一に、市民一人一人が光り輝けるよう「あつぎの元気きらめき予算」として編成しました。予算総額は、1406億3316万3千円で、前年度と比較して29億2880万9千円の増額(2.1%増)です。

☎財政課 ☎225-2170

予算

総額

1406億3316万3千円
(前年度比2.1%増)

一般会計

総額

777億8000万円
(前年度比3.0%増)

特別会計

総額

500億1925万9千円
(前年度比12.1%増)

公営企業会計

総額

128億3390万4千円
(前年度比27.1%減)

6・7ページへ

市の予算は、三つの会計に分類できます。

公営企業会計は、民間企業と同じように事業収入によって運営している事業の会計で、厚木市では病院事業が該当します。

病院事業会計

市立病院の運営や建設などをします。

●収益的収支(前年度比)

収益 87億6486万6千円(3.5%減)
費用 100億9123万3千円(9.4%減)

●資本的収支(前年度比)

収入 25億1612万7千円(58.8%減)
支出 27億4267万1千円(57.7%減)

※資本的収支の不足額2億2654万4千円は、損益勘定留保資金で補てんします。

五つの特別会計

特別会計は、特定の歳入を特定の歳出に充て目的に応じて使う会計です。

①国民健康保険事業

294億4400万円(前年度比12.8%増)

国民健康保険料が主な財源で、被保険者が病気やけがなどをした場合に給付などを実施

②介護保険事業

119億9900万円(前年度比16.2%増)

介護保険料が主な財源で、被保険者が介護サービスを利用した場合に給付などを実施

③公共下水道事業

61億3900万円(前年度比4.6%増)

下水道使用料が主な財源で、下水道の建設や維持管理などを実施

④後期高齢者医療事業

20億6200万円(前年度比6.5%増)

後期高齢者への医療給付に必要な保険料の徴収などを実施

⑤公共用地取得事業

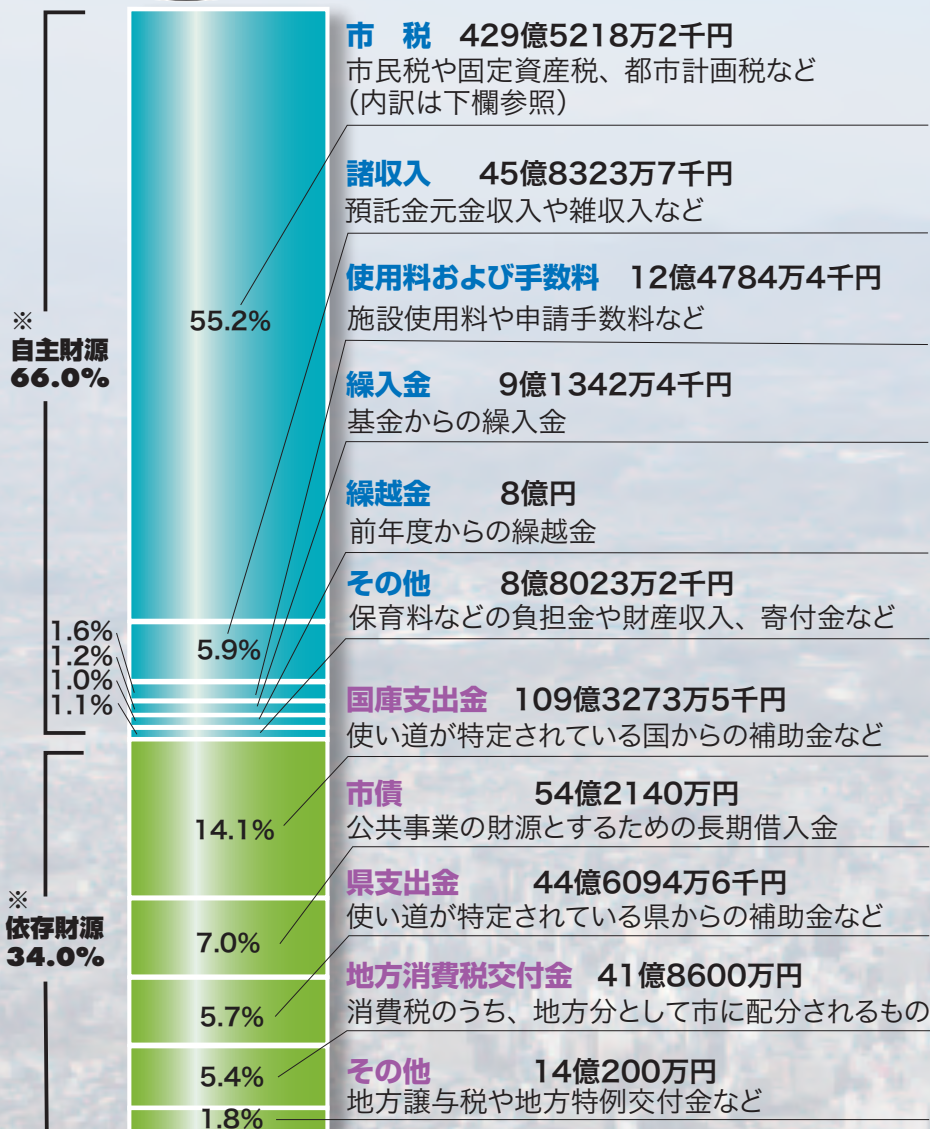
3億7525万9千円(前年度比1.5%減)

公共用地の先行取得

一般会計の中身をチェック

一般会計は、福祉や防災、道路、教育など市の基本的な仕事の収入と支出を管理する会計です。

収入



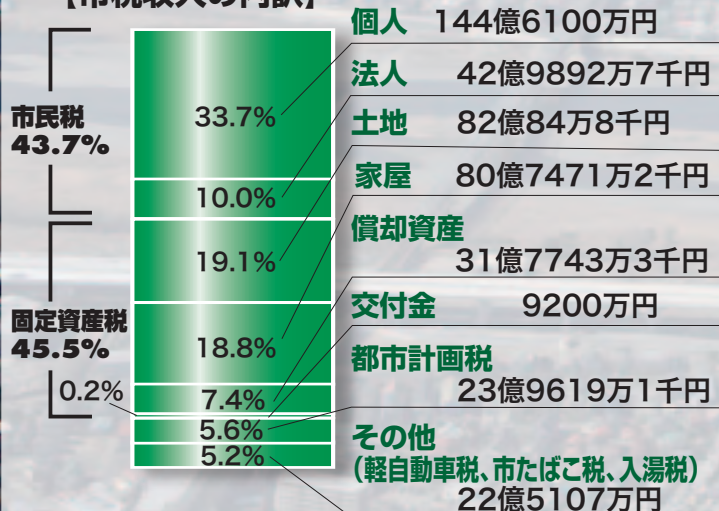
※ 自主財源とは

地方公共団体が自らの権能に基づいて自主的に収入するもの。地方税、分担金および負担金、使用料および手数料など。歳入総額に占める自主財源の割合(自主財源比率)が高ければ高いほど、地方公共団体の自主性と安定性があることを示します。

※ 依存財源とは

国や県の意思決定に基づき収入されるもの。地方譲与税、地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方債など。

【市税収入の内訳】



貯金と借金

貯金(=基金)

年度間の財政調整をする財政調整基金の他、教育・文化振興・災害対策など特定の目的で積み立てる資金です。

< 基金の合計額 >

40億5411万1千円(平成27年度末見込み額)
市民1人当たり…1万8007円

借金(=市債)

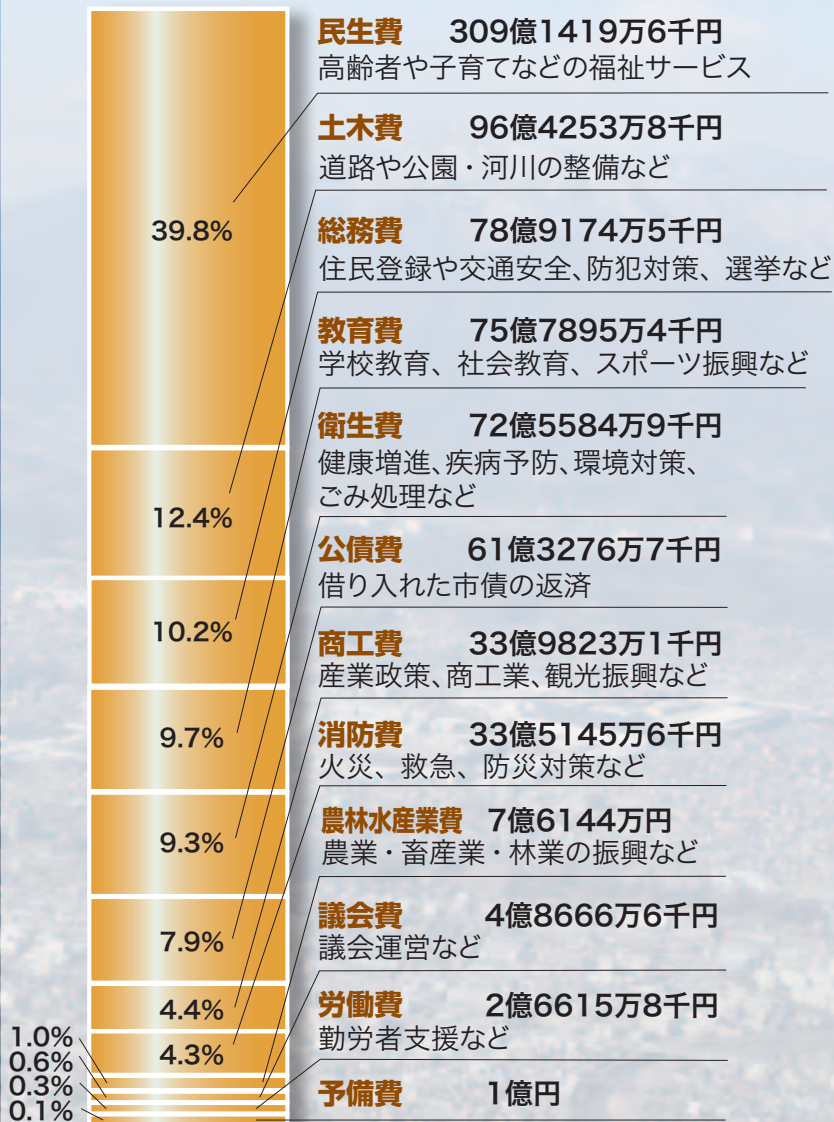
学校や道路など、長期にわたって使用する公共施設の整備に必要な市債(長期借入)を発行します。

< 市債の残高 >

489億6949万8千円(平成27年度末見込み額)
市民1人当たり…21万7514円

総額 **777億8000万円**

支出



国の補正予算を活用

獲得した国の補正予算を活用して、プレミアム商品券の発行など約2億2千万円の事業を実施します。市の一般会計予算額と合わせると、780億円を超える予算規模となります。

平成27年度一般会計当初予算額	777億8000万円
国の予算補正に対応した補正額	2億2681万2千円
合計	780億681万2千円

市民1人当たりを使うお金

歳出予算額を市民1人当りに換算した使い道(目的別)の内訳です。

34万5485円



【民生費】	13万7315円
【土木費】	4万2831円
【総務費】	3万5054円
【教育費】	3万3664円
【衛生費】	3万2229円
【公債費】	2万7241円
【商工費】	1万5094円
【消防費】	1万4887円
【農林水産業費】	3382円
【議会費】	2162円
【労働費】	1182円
【予備費】	444円

※人口22万5133人(平成27年1月1日現在)を基準に算出

どんなことに使われているの？

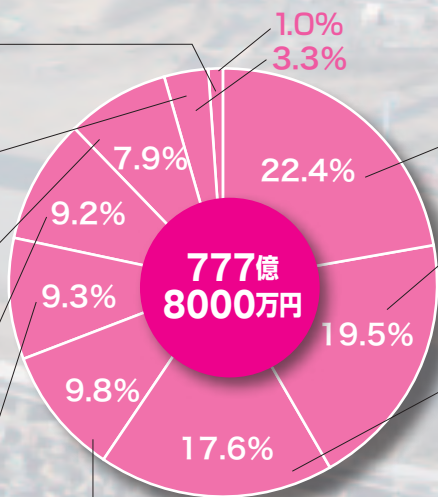
【その他】 8億6748万8千円
維持補修費や基金への積立金、病院事業会計への出資金などに

【貸付金】 25億3100万円
地域住民の福祉増進や地域振興に必要な現金の貸し付けに

【公債費】 61億3276万7千円
公共事業などの財源として借り入れた市債の返済に

【補助費等】 71億1903万1千円
病院事業会計負担金や各種団体への運営補助金などに

【繰出金】 72億967万2千円
会計間における資金の支出に



【扶助費】 174億2161万3千円
子ども手当や生活保護費などの福祉に

【人件費】 151億7311万2千円
職員の給料や議員の報酬などに

【物件費】 137億1755万2千円
公共施設の施設運営費や消耗品など市の事務に

【普通建設事業費】 76億776万5千円
道路や公園など公共施設の建設・改良工事に

あつぎの 元気きらめき予算 2015



七つの 重点項目

1 長寿・医療・福祉

生涯現役健康都市の実現を目指して

予算額 **672億1237万6千円**(※)

誰もが健康で生きがいを持ちながら、元気に暮らせるまちを目指します。

※一般会計、特別会計、公営企業会計の総額

健康への取り組みをポイント化

新規

(仮称) あゆコロちゃん
GENKIポイント事業 **713万4千円**

健康医療課

健康意識を向上させ健康寿命を伸ばすため、各種健診事業の受診者や健康増進事業などの参加者にポイントを付与し、特典と交換できる事業を実施します。



介護サービスの人材確保と育成

新規

介護職人材確保支援事業 **1000万円**

介護保険課

障がい者介護を含めた介護職希望者に対する事業所説明会の実施やキャリアアップ支援などにより、優れた人材の確保と定着を支援します。

生きる力を育み健康寿命を延伸

拡充

健康食育あつぎプラン推進事業 **654万5千円**

健康医療課

「健康食育あつぎプラン」の推進モデル地区に2地区を追加し、計6地区で「まちの保健室」などの事業を実施します。

平成29年春の全面オープンに向けて

継続

厚木市立病院建設事業 **22億9104万円**

病院建設課

完成イメージ



第1期工事で救急手術棟とA棟(病棟)を整備し、平成27年3月1日に新市立病院がオープンしました。第2期工事ではB棟(外来診療部門・病棟)を整備し、より高度な医療を提供します。

保健・医療・福祉の拠点施設に

新規

(仮称) 保健福祉センター整備事業 **5億3898万7千円**

福祉総務課

総合福祉センターを改修し、乳幼児健診や療育支援など保健福祉の拠点施設として新たな(仮称)保健福祉センターを整備します。

2 安心安全・防災減災

誰もが安心して暮らせるまちを目指して

予算額 **29億2098万8千円**

地震や風水害など災害への備えを強化。事故やけがを防止する対策にも取り組みます。

119番通報から出動までの時間を短縮

新規

高機能消防指令センター整備事業

3億**9254万4千円**

指令課

消防救急無線のデジタル化や清川村との消防事務委託に向け、災害受信や出動指令をより迅速に行う高機能消防指令センターを整備します。



中心市街地のゲリラ豪雨被害を軽減

拡充

厚木排水区等浸水対策事業

公共下水道特別会計 **1億1000万円**

下水道施設課

中心市街地などの浸水被害を軽減する排水施設を設計するとともに、市内全域の浸水に関する情報を載せた内水ハザードマップを作成します。

自転車事故を防止し、けがを軽減

拡充

児童・中学生・高齢者用自転車

ヘルメット購入助成事業 **214万4千円**

くらし交通安全課

幼児・児童や65歳以上の高齢者を対象にしていた自転車ヘルメット購入費の一部助成を、中学生にも拡大します。



救急車が到着するまでの応急手当てに

新規

自動体外式除細動器 (AED)

設置関連事業

502万2千円

救急救命課・健康長寿課

救命率のさらなる向上のため、AEDを24時間営業のコンビニエンスストアに設置するとともに、老人憩の家(41館)にも順次設置します。



多様化する災害に対応し部隊運用を強化

拡充

消防救急無線 (活動波) デジタル化等 整備事業

1億8719万4千円

指令課

迅速かつ的確な消防救急活動を展開するため、多様な情報伝達が可能なデジタル方式の消防救急無線システムを新たに整備します。

3 子育て・教育

子育て・教育環境日本一の実現を目指して

予算額 **137億3144万8千円**

子育て支援や学校教育の環境を整え、笑顔あふれるまちづくりを進めます。

学力向上と不登校問題の解消に向けて

新規

中学校少人数学級実施事業

358万5千円

教職員課

小学校から中学校への教育を円滑に移行するため、モデル校を指定し県内で初めて中学1年生の35人学級編成を取り入れ、きめ細かな指導を実施します。



国際化社会に対応できる生徒を育成

拡充

外国語指導助手配置事業

4724万9千円

学校教育課

国際理解の素地を養い、コミュニケーションを中心とした英語教育を進めるため、市立小中学校に英語を母国語とする外国語指導助手を配置します。



市民の寄付を基に修学資金を支援

拡充

久保奨学金基金事業

466万1千円

教育総務課



未来を担う生徒の夢を応援するため、経済的な理由で修学が困難な生徒などを対象に奨学金を給付します。

平成26～28年度で全小学校に整備

拡充

小学校教室冷暖房設備設置事業

4億3794万6千円

学校施設課



児童の健康面に配慮し、快適な学習環境を整えるため、小学校(平成27年度は8校)の普通教室に冷暖房設備を設置します。

目玉事業

子ども・子育て支援新制度関連事業

新規

38億981万6千円 こども育成課・保育課

「子ども・子育て支援法」などの「子ども・子育て関連3法」が施行され、4月から「子ども・子育て支援新制度」が全国的にスタートします。幼児教育や保育、地域の子育てを総合的に支援するため、保育の量の拡大や質

の向上への取り組みが進められます。

市では、法の施行に先駆けて実施している事業は継続するとともに、市独自の新規事業も充実させ、子育てしやすく働きやすい社会を目指して支援を進めていきます。



新規事業

子ども・子育て支援新制度給付金

3億7627万円

新制度に移行する幼稚園や認定こども園に、教育・保育の向上に必要な経費を一部支給。

就園児実費徴収補助金

45万6千円

新制度に移行する幼稚園や認定こども園に通う生活保護世帯に、必要物品などの費用を一部補助。

幼稚園型一時預かり事業補助金

1462万1千円

新制度に移行する幼稚園や認定こども園に、預り保育の利用時間や園児数に応じた補助金を支給。

小規模保育施設運営費補助金

《市独自事業》 **4322万2千円**
 国の補助に加え小規模保育施設への補助金を上乘せし、保育事業に要する経費を補助。

認定こども園新制度補助金

《市独自事業》 **3215万円**
 幼稚園型認定こども園に、施設の規模に応じた補助金を支給。

子ども・子育て支援制度地域型保育給付費

1億1936万9千円
 小規模保育事業や家庭的保育事業に、保育が必要な児童を受け入れるための経費を支給。



4 中心市街地・交通対策

県央の雄都を目指し、快適生活空間の実現を

予算額 **29億2219万6千円**

施設の再編成や道路整備などを実施し、快適で住みよいまちづくりを進めます。

バスセンター周辺地域を整備

拡充

中町第2-2地区周辺整備事業

5914万3千円

中心市街地整備課

中央図書館や子ども科学館を核とした複合施設の計画と、既存施設の解体工事などを実施します。誰もが気軽に立ち寄れ、充実した時間を過ごせる居場所づくりを進めます。

整備イメージ



現在の厚木バスセンター周辺



市内の道路交通網を整備

拡充

街路整備関連事業

6億4848万2千円

道路用地課・道路整備課

新東名高速道路へのアクセス向上と、森の里東土地区画整理地区に連絡する環状線の早期整備を目指し、道路用地の取得や造成工事などを実施します。

交通集中を分散化し渋滞を解消

拡充

赤坂竹ノ内線道路整備事業

1億2300万円

道路整備課

県道603号上粕屋厚木と市道赤坂津古久環状線を連絡する新規路線の設計や玉川に架かる橋りょう工事などを実施します。

圏央道を有効活用し地域経済を活性化

拡充

スマートインターチェンジ整備事業

2762万円

道路整備課

(仮称)厚木パーキングエリアスマートインターチェンジの平成30年度末までの供用開始に向けて、測量や設計などを進めます。



上空から見た厚木パーキングエリア

目玉事業

本厚木駅南口地区市街地再開発事業

拡充

1億5415万6千円 本厚木駅南口再開発事務所

魅力ある本厚木駅南口の顔づくりを目指し、市街地再開発事業を進めます。計画では、歩行者の混雑解消やバス・タクシー乗降場の再配置、一般車乗降場の新設などに向けた駅前広場の拡充整備と、商業や業務施設、住宅が一体となった再開発ビルの整備が予定されています。

事業は、権利者などで組織する組合での施行を予定し、平成28年度の着工に向けて進めていきます。

【施行面積】

約0.8ヘクタール

【整備計画】

- ・駅前広場 現在の約3500平方メートルを約4300平方メートルに拡充し、バス・タクシー・身障者・一般車乗降場、歩行者専用通路(ペデストリアンデッキ)などを整備
- ・再開発ビル 構造：地下1階地上22階建て(鉄筋コンクリート造)
用途：店舗、事務所、住宅(約150戸)、市営自転車駐車場(約600台) など

【平成27年度の主な予定】

- ・再開発ビルの計画に要する補助金の交付
- ・公共施設管理者負担金(駅前広場や道路など公共施設計画に要する費用)の支出
- ・組合設立に向けた再開発準備組合への指導・支援



現在の本厚木駅南口

完成イメージ



本厚木駅南口

5 企業誘致・雇用創出

地域経済の持続的な発展に向けて

予算額 **41億9865万3千円**

産業用地の拡大や企業立地の促進、雇用機会の創出に取り組み、地域経済を活性化します。

ロボット関連企業の販路を拡大

国際ロボット展等出展事業

200万円

産業振興課

市内企業や大学などが取り組むロボット関連の優れた技術をPRするため、全国規模の展示会である「国際ロボット展」に県内の市町村から初めて出展します。



二足歩行のあゆココちゃん型ロボット「ロボココ」



手のリハビリを補助するロボット「パワーアシストハンド」



新規企業の市内進出を支援

企業立地元気アップサポート事業 奨励金

4619万8千円

産業振興課

「企業等の立地促進等に関する条例」の適用を受けた企業に、固定資産税などの減免に加え、企業立地奨励金などを交付します。

正規雇用での就職率を向上

若者・女性等雇用拡大事業（緊急雇用）

2000万円

産業振興課

求職者の人材育成などを実施しながら、市内企業とのマッチングの場を提供し、正社員として就労を希望する若者や女性の就職活動を支援します。



産業用地を拡大し都市基盤を整備

土地区画整理推進事業

1億6111万3千円

まちづくり推進課

関口・山際地区と南部産業拠点（酒井）地区の土地区画整理事業を行うため、権利者組織に必要な支援を実施します。



上空から見た関口・山際地区

目玉事業

森の里東土地区画整理推進事業

拡充

10億722万8千円 森の里東拠点整備事務所

新たな産業拠点の創出に向けた土地区画整理事業が昨年12月、下古沢・上古沢・愛名・森の里青山地区で始まりました。この地区は、整備が計画されている厚木秦野道路の(仮称)森の里インターチェンジから1キロほどの距離にあるなど、さらなる

交通利便性の向上が見込まれています。

事業は権利者で組織する組合で施行します。市では現地に「森の里東拠点整備事務所」を設置し、事業が計画的に進むようサポートするとともに、関連する道路や排水路を整備していきます。

【施行面積】

約68ヘクタール

(うち産業用地は約25ヘクタール。その他は緑地、道路など)

【整備計画】

- **A工区**(産業用地 約5ヘクタール)
平成26年度着工、平成29年度完成
- **B工区**(産業用地 約8ヘクタール)
平成27年度着工、平成32年度完成
- **C工区**(産業用地 約12ヘクタール)
平成31年度着工、平成35年度完成

【平成27年度の主な予定】

- ・市補助金の交付
- ・公共施設管理者負担金の支出
- ・関連する道路や排水路の整備

エコキャンパス
コンセプトは「Echo CAMPUS」
人・自然・産業が響き合うまちづくり

- 地域雇用の創出…周辺の地域人材の雇用を生み出します。
- 企業間・地域の交流づくり…関連業種を集め、ビジネスチャンスを創出します。住民などとの交流拠点をつくります。
- 「みどりのネットワーク」を生かす…地域の自然を生かした就労環境を提供します。
- 環境配慮型の産業拠点…環境に優しい産業拠点を整備します。

整備イメージ

C工区

B工区

A工区

厚木西高校

市斎場

6

自然共生・再生可能エネルギー

自然と共生し豊かに暮らせるまちへ

予算額 **12億3446万5千円**

生態系への配慮や地球温暖化対策などを進め、環境の保全に努めます。

多様な生き物の生息状況を把握し保全活動に活用

拡充

生物多様性生きもの調査推進事業

293万8千円

環境政策課

生物の多様性を保全するため、専門家による希少種の調査や、市民協働による生き物の調査を実施します。



太陽光を活用し災害時のエネルギーを確保

拡充

再生可能エネルギー導入促進事業

2700万円

環境政策課

再生可能エネルギーの普及促進と災害時の電力確保のため、防災拠点となる学校に太陽光発電システムを設置します。



南毛利中学校に設置された太陽光パネル

生態系に配慮して河川や水路を整備

拡充

水源環境保全・再生事業

1億5846万円

河川ふれあい課

準用河川である恩曾川で、自然石や水生植物の浄化機能を利用した多自然河床整備を実施します。

園芸施設に省エネ設備の導入を支援

新規

施設園芸省エネルギー対策補助金

26万4千円

農業政策課

園芸施設の省エネ化・省石油化を進め農業経営を安定させるため、省エネ暖房設備(IHエコヒーター)などの導入費用を一部補助します。

農地の有効利用をサポート

新規

耕作放棄地再生利用事業費補助金

500万円

農業政策課

長期間に渡り作付けがない農地の再生と耕作の定着に向けて、耕運機や刈り取り機などの導入費用を一部補助します。



7

スポーツ環境・文化振興 誰もがスポーツに親しめる社会へ

予算額 2億9510万9千円

生涯スポーツや歴史・文化など、社会教育実践の場の普及活動に取り組みます。

アスリートの育成や指導者の養成

拡充

あつぎスポーツアカデミー推進事業
補助金

1563万2千円

スポーツ政策課

未来のトップアスリートの発掘や育成をするスポーツアカデミー事業で、ジュニア育成部門を充実させるための事業費を補助します。



スポーツ施設の拡張と施設改修

拡充

体育施設整備事業

1億351万4千円

スポーツ政策課

中津川スポーツ広場を整備してサッカーフィールド2面分の広さに拡張するとともに、南毛利スポーツセンター体育館の照明・空調設備を改修します。

勤労福祉センターの跡地に新築移転

新規

厚木南公民館新築事業
(継続費)

9764万円

社会教育課

中心市街地の公共施設再配置計画に基づき、厚木南公民館の新築移転に向け、基礎工事などを実施します。

郷土文化の新たな活動拠点に

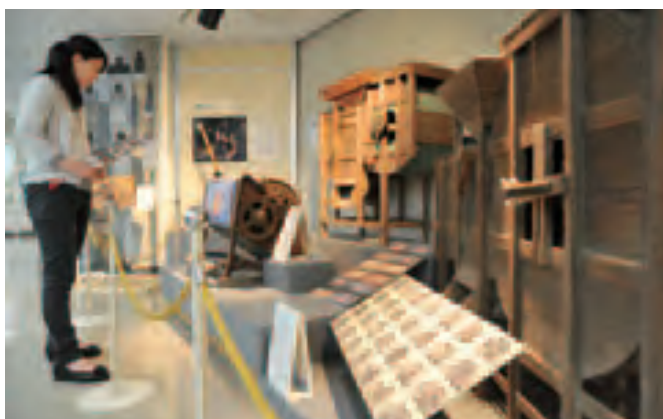
新規

(仮称) 収蔵資料館建設事業

3039万5千円

文化財保護課

文化財資料の展示や収蔵、体験学習などの機能を備えた(仮称)収蔵資料館を整備するため、地盤調査や基本・実施設計などを進めます。



2020年東京五輪のキャンプ地を厚木に

新規

オリンピック・パラリンピック
支援推進事業

600万円

企画政策課

東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプを誘致するため、パンフレットやホームページなどを作成します。



総合計画「あつぎ元気プラン」

市のまちづくりの方向性を定めた「あつぎ元気プラン」。ことし4月から、平成32年度までの具体的な施策を定めた第2期基本計画がスタートします。

五つの基本政策と地域別の計画に基づいた施策を展開し、市の将来都市像「元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市 あつぎ」の実現を目指します。

1 安心政策 支え合い、安心していきいきと暮らせるまちづくり

- **安心して子育てできる社会の実現**
子育てに誇りと喜びが深められる環境の整備
- **高齢者が生きがいを感じる社会の実現**
高齢者が安心して生き生きと生活できる環境づくり
- **障がい者が生きがいを感じる社会の実現**
障がいのある人が安心して生き生きと生活できる環境づくり
- **健康・長寿社会の実現**
生涯現役健康都市を目指したまちづくり
- **多様な市民活動が共存する社会の実現**
ふれあい、支え合う地域コミュニティ活動の活性化
- **自信と誇りを持てる人権尊重社会の実現**
互いの人権を尊重し、生き生きと個性や能力を發揮できる社会づくり



- **セーフコミュニティの推進による安心・安全な社会の実現**
安心・安全に暮らせる魅力的な地域社会づくり
- **安心・安全の向上に取り組む社会の実現**
誰もが安心して安全に暮らせるまちづくり
- **命と暮らしを守る社会の実現**
市民・地域・行政が一体となった災害に強いまちづくり

2 成長政策 だれもが夢をはぐくみ、自ら学び共に成長するまちづくり

- **学校教育の一層充実した社会の実現**
子どもの生きる力を育む学校教育の充実
- **社会教育の一層充実した社会の実現**
未来を創る心豊かな人づくり
- **いつでも生涯学習に取り組むことができる社会の実現**
自立・協働による生涯学習社会の実現

- **文化芸術に親しむことができる社会の実現**
人・まち・自然が響き合う文化芸術環境の充実
- **誰もがスポーツに親しむことができる社会の実現**
誰もが気軽にスポーツができる環境の充実



3 共生政策 みんなでつくる、自然環境と共生するまちづくり

- **地球温暖化防止・低炭素社会の実現**
温暖化防止など、環境への負荷を減らす取組の推進
- **持続可能な循環型社会の実現**
環境に配慮した循環型社会づくり
- **自然と共生する社会の実現**
自然の恵みを大切にし、活用する取組の推進

- **豊かな生活環境の実現**
緑豊かで美しい生活環境の整備
- **河川と共生する社会の実現**
「川のまち厚木」の豊かな河川環境の保全・活用



第2期基本計画がスタート

4 快適政策 にぎわいあふれる、快適で利便性の高いまちづくり

- **活力ある中心市街地の実現**
中心市街地の魅力や利便性の向上による、歩いて楽しいまちづくり
- **地域特性を生かした魅力あるまちの実現**
地域の特性を生かしたまちづくり
- **快適生活空間の実現**
市民が暮らしやすい快適な生活環境の整備
- **企業・商業活動が活発なまちの実現**
商工業を始めとする企業活動の活性化、企業誘致の推進
- **新たな戦略による観光のまちの実現**
地域資源や交通優位性を生かした観光の振興



- **都市農業・林業を生かした地域産業の実現**
消費者に生産者の顔が見える都市農業や林業の振興
- **安心して働くことができる社会の実現**
求職者への就労支援や中小企業の労働環境の向上

5 信頼政策 市民の信頼に応える、ひらかれた行政経営のまちづくり

- **あつぎの魅力の創造と発信**
市民が誇れるまちづくり
- **行財政改革の推進**
経営感覚を重視した行財政運営の推進
- **市民参加・市民協働の推進**
誰もが共感できる協働都市づくり
- **都市間連携の推進**
都市間連携による相互の発展と市民サービスの向上



地域別 地域の個性や特性を生かしたまちづくり

- 厚木地域** (厚木北地区、厚木南地区)
将来像: 魅力ある安全・快適な拠点性の高い交流のまち 厚木
- 依知地域** (依知北地区、依知南地区)
将来像: 水と緑に囲まれた新たな活力が生まれるまち 依知
- 睦合地域** (睦合北地区、睦合南地区、睦合西地区)
将来像: 豊かな田園環境と調和した快適な生活環境のまち 睦合
- 荻野地域**
将来像: 豊かな自然に抱かれた健康・活力のあるまち 荻野

- 小鮎地域**
将来像: 自然と共生する新たな魅力を創造するまち 小鮎
- 南毛利地域** (南毛利地区、緑ヶ丘地区、南毛利南地区)
将来像: 自然環境と調和する生き生きとしたにぎわいのあるまち 南毛利
- 玉川地域** (玉川地区、森の里地区)
将来像: 丹沢山麓の豊かな自然に包まれた健康・学び・交流のまち 玉川
- 相川地域**
将来像: 厚木の新たな玄関口となる南部産業拠点を形成するまち 相川



詳しくは…「あつぎ元気プラン」第2期基本計画は、本庁舎1階 市政情報コーナーや公民館などで閲覧できるほか、市ホームページでもご覧になれます。



厚木市 総合計画 第2期 企画政策課 ☎225-2455



～深めよう！人と人とのつながり～

厚木市は平成27年2月1日、「ふれあい」の大切さを共有するため、「市民ふれあい都市」を宣言しました。

人と人とのつながりを深め、市民協働で、ふれあひあふれるまちをつくっていきましょう。



あつぎ市民ふれあい都市宣言

厚木市は、先人のたゆまぬ努力により、自然と調和する都市として発展してきました。そして今、少子高齢化の進展や価値観の多様化により、人と人との関係が変化し、市民相互の絆(きずな)がより大切になっています。

私たち一人一人が地域に関心を持ち、日頃から助け合い、市民協働により、身近な課題に取り組むことで、笑顔で暮らせる安心・安全なまちをつくることができます。

家庭や地域で思いやりの心を育み、ふるさと厚木を世代を超えて愛し、誇れるまちとするため、ここに「市民ふれあい都市」を宣言します。

ふれあいの家庭づくり

家族との絆(きずな)を深め、人を思いやる豊かな心を育み、ぬくもりのある「心ふれあう家庭」をつくりましょう。

ふれあいの地域づくり

地域に暮らし、働き、学ぶ中で、地域活動の輪を広げ、みんなで支え合う「心ふれあう地域」をつくりましょう。

ふれあいのまちづくり

人と人とのつながりの輪を広げ、希望に満ちた、未来に輝く「心ふれあうまち厚木」をつくりましょう。